

種蒔く人……在来種を自家採種するネットワーク

岩崎政利さんの話 その1「在来種は宝探し」

Report

■種の世界は 扉が開かれたばかり

体を壊し大学病院等転々としまして、結果的に2年近く寝たきりの生活をする中で、農薬をやめよう、化学肥料をやめようと決心をしてこの有機無農薬の農業を始めたわけですが、早いもので、20年もすぎたということです。その一環として種の問題も取り上げてきました。地道な運動でありました。種採りの技術が、今の農家の中にほとんどその技術が残されていないということがあって、なかなか種に関心がいかなかったのが事実です。

今全国で種採りの運動が広がってきつつありますが、種の採り方、保存の仕方、選抜の仕方、あるいはどういうものが今の時代に向いているか、まだ扉は開かれたばかりだと思います。これからも、ますますこの運動をすすめていきたいと思っています。

■今の時代にあう 在来種を

私は、地方の伝統野菜をひとつひとつ集めていくなかで、そのすばらしさに感動しますし、こんなすばらしい野菜が残っていたのか、あるいはそのまさに食べておいしい野菜が、寸前に消えようとしていることも、そういう野菜もあることを知りました。“在来種、固定種はまるで宝物、宝探し”そんな感じですね。そんな野菜と出会ったときに、本当にすごい感動と喜びを覚えます。

【おいしい在来種】

自分では「なんでこの在来種が」と思って作ったような野菜でも、それを食べた消費者が「あれはおいし

い」言う。あ、そうかな、と消費者によってまた気づいて残している在来種もあります。そういうふうに“消費者の方に言われること、食べておいしい野菜を見出し作り出していくことが、私たち生産者としてこれからは非常に大切な要素だな”という感じもします。その中にこういう固定種や在来種、自家採種した野菜がたくさん入るといった感じがしています。

【生命力の強い在来種】

こういう伝統的にその地方で受け継がれている在来種・固定種というのは、非常に生命力が強いということ。それに比べて今のF1種というのは、見栄えもよくて大きくて、ある程度の耐病性、といいますか、病気にも強く非常に作りやすいことも事実ですが、生命力に関しては、在来種の方が非常に強いのもわかりました。

その生命力として、究極は土と太陽と水と人。そういう中でモノができる。そんな時代が、ひょっとしたらこの種を育成することによって花になっていくんではないか、という夢・ロマンが目標に生まれてきました。種の運動はこれからの新しい農業の中では、避けて通れない運動であるという感じがします。

【自家採種の大切さ】

その一方で、今の時代にあう在来種を見つけることが非常に難しい。在来種は個性が強く、地方が違えばそこには合わない、という種もたくさんある。探すだけではなく、どういう在来種を残していくか、非常に悩み探し求めてきたわけですが、このことはですね、私が有機農業を

らでいっしょぼーやの準定期「種蒔く人」。在来種や固定種の種を蒔いて自家採種する生産者の野菜をお届けするこの仕組みは1998年から開始され、今年で5年目にあたります。岩崎さんはこの「種蒔く人」の中心的人物。1月25日に東京で開催されたセミナーで、岩崎さんの在来種や固定種、自家採種についてのお話を聞き、その広がりや深さについて触れることができました。

してる中で「これは大切なことである」と行き着いたことも事実です。この課題の延長線上にも、自家採種というものが位置付けられるような気がします。

■在来種は宝探し

岩崎さんのお話の中で「種というものが、私たち生産者から非常に遠いものになっている」という言葉が印象に残りました。

生産者と消費者の距離が遠くなることで見えなくなってきた「顔の見える関係」をしっかりと結んでいく作業が、らでいっしょぼーやを含めた流通に求められる大切な役割と考えるとき、食べ物を作る営みの中にも、大きな時代の流れの中での「分業化」が進み、大切な本質が抜け落ち始めているのではと、素朴に思いました。

たとえば、私たちが昔から「ほうれん草」と呼び親しんできた野菜、今では在来の日本ほうれん草は珍しく、その大半がF1品種です。品種がいつのまにか取って代わられている。背景には様々な事情があるのですが、「種」を考えると、作り手がどんな種を選ぶかは、食べ手が選べないだけに、とても大切なことだと思います。

岩崎さんは今の時代にマッチした種（在来種や固定種）を見出すのは困難である、とも話していましたが、その困難な作業を、楽しさやすばらしさとしての「宝探し」という言葉に置き換えます。それは「自分にしかない野菜を作りたい、もっとおいしいものを作りたい」という思いのなかでの、農業の「農」と「業」、本質と必然性の両方を追いかける逞しさなのではないでしょうか。

(事務局・竹内)